

MOOV products

大阪のものづくりが産み出したイイモノ大集合。
奇抜なカタチやデザイン、機能美も豊かな製品を紹介。



A

独自圧着技術が実現した
木の質感と独特の曲面。

木の質感を保ちつつ、
カメラ部分の深い断面も
美しい。

B

美しいシルバーの模様が
ビールを美味しくする!?



この内側の模様が
ビールの泡持ちと味を
良くする。

C

日本人にマッチする
少量生産スニーカー。



兵庫県明石の
木型職人が作った木型が
履きやすさの秘密!

A

プラスチック成形の会社を営む有限会社ワークスオカダが、「何かと共存する」という意味を込めた造語『remoera』をブランド名に冠して販売するのは、天然木を用いたiPhone ケース。その特長は背面のゆるやかな曲面で、天然木を薄くスライスし、樹脂成形と木への曲面加工を同時に施す独自の圧着技術によるものだ。開発に1年以上を要したこの技術により、木の特性である香りや手触りはそのままに、木目を美しく際立たせつつ手にしっくりと馴染む曲面を持たせることに成功した。大阪・日本橋にあるショールーム兼店舗なら、30種類の天然木とプラスチックのケースフレームのカラーを選べば、その場でオリジナルケースを制作してもらうことができる。

☞ REAL WOODEN CASE COVER
「WoodGrain-木目-」for iPhone4・4S

有限会社ワークスオカダ

天然木を使用したスマートフォン周辺機器製品を中心に、独自技術を盛り込んだ「遊び心と高品質」をコンセプトとするブランド『remoera』を展開。屋久杉、吉野杉、黒檀など内外銘木30種類。価格は3200円～5400円。
<http://www.remoera.com/>

B

銀色の輝きを放つ錫器製造の技術を江戸時代から脈々と受け継いできた大阪錫器。代表取締役・今井達昌氏は「伝統工芸は立ち止まったり、守り一辺倒になると終わり。時代を見極めて需要を見だし、変化しないと生き残れない」と語る。その言葉通り、飲み屋でタンポやチロリとして使われていた錫器だが、現在は自宅用のタンブラーが人気を博している。ビールを美味しくする錫器表面の細かい模様は、鋳型に錫を流して作る製法に強みを持つ大阪錫器だからこそ成せる技だという。「昔の職人はすごい。我々も負けていけない」と語る今井氏は、旺盛な進取の精神によってプロダクトデザイナーや輪島塗職人など、異業種とのコラボ商品の開発も積極的に進めている。

☞ シルキータンブラースタンド 特大 520ml

大阪錫器株式会社

錫器を作る会社は、大阪で5社、全国でも15社のみ。写真のシルキータンブラー、スタンダード 特大 (15,750円) のほか、様々なサイズが揃っている。
<http://www.osakasuzuki.co.jp/>

C

日本人独特の幅広甲高な足に合わせた木型に、栃木レザーをはじめとした国産天然皮革と日本の靴づくりの技術、そこにシンプルかつ上質なデザインが加わって生まれたのがblueoverのスニーカーだ。プロダクトデザイナー・渡利ヒトシ氏がデザインしたスニーカーは、複数のカラーパリエーション展開による少量生産を貫き、まさに「所有する喜び」を感じられる一足に仕上がっている。また、一枚革のアップパーやカップインソールの採用など、デザインと履き心地を両立させる数多くの試みを実現できたのは、日本の職人技術があったから。さらに、日本国内での少量生産にこだわることで、商品のマイナーチェンジを容易にし、デザインや品質向上の速度アップにも貢献している。

☞ mikey

blueover (ブルーオーバー)

「新しく変わらない:New unchanged.」がコンセプトの日本製スニーカーブランド。履き込むことで風合いが生まれるプロダクトを目指している。現在は「mikey」「marco」「kopori」の3つのシューズラインを展開。
<http://www.blueover.jp/>

編集後記

ソフト会社の大学の先輩が「20年前にヒットしたパソコンソフトにずっと固定客がいて、今でもバージョンアップして使ってくれている」と。定番商品を産み出す秘訣は、その可能性を信じるスタンスと、商品になるまで考えやこだわりを極める想いだらう。大阪からスタンダードとなった商品は数知れず、企画のおもしろさや技術力の高さにより世界中で愛されている。人の思いつきから会社としての取組みになり、地域のブランディングをもっと押し進められたら素晴らしい。大阪のものづくり企業の変革と挑戦に期待します。(浅野)

スタッフ

企画・編集
株式会社ファイコム

編集長
浅野 由裕 (faycom)

写真
北尾 浩幸

アートディレクター
北村 竜司 (CURRENT)

ライター
田中 哲也 / 中直照 / 山下 朋子 / 山口 裕史

印刷
有限会社山添

MOOVpress 02 JUNE 2012

大阪のものづくり企業を知る。動く。繋がる。[ムーブプレス]

発行
MOBIO (ものづくりビジネスセンター大阪)
大阪府商工労働部 商工振興室 ものづくり支援課
〒577-0011 東大阪市荒本北1丁目4番17号 (クリエイション・コア大阪内)
TEL_06-6748-1011 FAX_06-6745-2362
<http://www.m-osaka.com/>

2012年6月29日 発行